

水彩画が趣味になったことについて

定年後、61歳から始めました。45歳までやっていた高齢者ラグビーに復帰するつもりでしたが、アキレス腱を痛め医師の勧告もあり、子供のころ得意だった絵画を趣味とすることにしました。

現在、国立新美術館での示現会展、都立美術館での日本水彩画出品展へ会員、会友として出品しています。

絵を趣味とするようになってから、美しい山河はもちろん、何気ない古びた街中等、風景を見る目もすっかりかわり何処へ行っても退屈することありません。また展覧会にはご無沙汰していた会社関係の方々、高校、中学、幼馴染との再会、電話や手紙で連絡など増え、人生を豊かにしています。

これからも楽しみながら、絵を描きたいと思っています。

富田 潤二